

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	パーチェェ吉祥院		公表日		2026年3月14日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		エレベーター、点字ブロック、階段の手すりを設置しています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		必要に応じて室内を分割し、集中して活動に取り組みやすいような環境設定をしています。活動内容も複数展開しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		一人ひとりの子どもたちが安心して過ごせるように対応しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		毎日、活動の振り返りと次回への改善点などを話し合っています。また、月一回の職員会議をしています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ホームページで公表し、保護者からの意見には適時対応しています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		第三者委員を外部の方に依頼していますが、評価はおこなっておりません。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		外部研修に参加しています。その内容を事業所での研修を通して共有しています。また、法人全体での内部研修もしています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		日々の様子から子どもの願いや課題を話し合っています。子どもの発達への願いを保障し、保護者の子育ての支えになるような支援目標設定に努めています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		療育内容を記録する際に、全員で振り返り、次の課題設定につなげている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		独自のアセスメントツールを作成し、使用しています。子ども一人ひとりに合わせて支援計画を作成しています。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		振り返りと共に次回の活動内容を、意見を出し合って決めている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		活動プログラム立案表を保存し、振り返りながら次の課題設定につなげている。子どもやグループの特徴に合わせて設定を工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		療育の姿だけでなく、家庭の状況や園の様子も考えながら、その時期その子にとって大切な活動の在り方を検討している。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		毎日、打ち合わせ・振り返りを実施し、そこで気づいた内容を日誌に反映、情報を共有し、次回の活動や取り組みを引き継げるようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		同上	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個別の姿を踏まえたうえで、集団活動の様子を記載しています。子どもの様子だけでなく、保護者からの相談も記録しています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的実施しています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		管理者・児童発達支援管理責任者を中心に行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		様々な関係機関と連携し、必要に応じて情報を共有しています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		保護者の了解を得たうえで、情報共有や園訪問などを行っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7		引継ぎ資料を作成し、学校と連絡調整を行っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	7		児童発達支援センターの訪問支援を受けた。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7			
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		療育後の報告や、個別支援計画などの面接にて共有している。	
保護者への	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		毎月親グループを実施し、子どもの発達や子育てについて学び合っています。保護者が互いに交流し合える場も設けています。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時にお伝えしています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		保護者と面談し、家族としての思いや困りを聞いたり、子どもの大切にしたい育ちについて共有しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7			

説明等	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		毎月おたよりを作成し、保護者と並行通園されている園にお渡ししています。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		療育終了前に、視覚情報なども含めてその日の様子を報告しています。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		自立支援協議会、保健センターや地域で行っている子育て支援などに参加している。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		年2回実施し、おたよりで報告しています。その他必要な委員会、訓練も実施しています。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		利用開始前に確認すると共に、児童表に記載していただき、記録を残しています。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		アレルギーがある場合は、医師の指示書を受け取り、それに基づいて対応しています。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		年1回外部研修を受けることにしている。虐待防止委員会を設置し、情報を共有している。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		身体拘束は行いません。子どもの行動が危険なときのみ、制止することを職員で確認しています。	